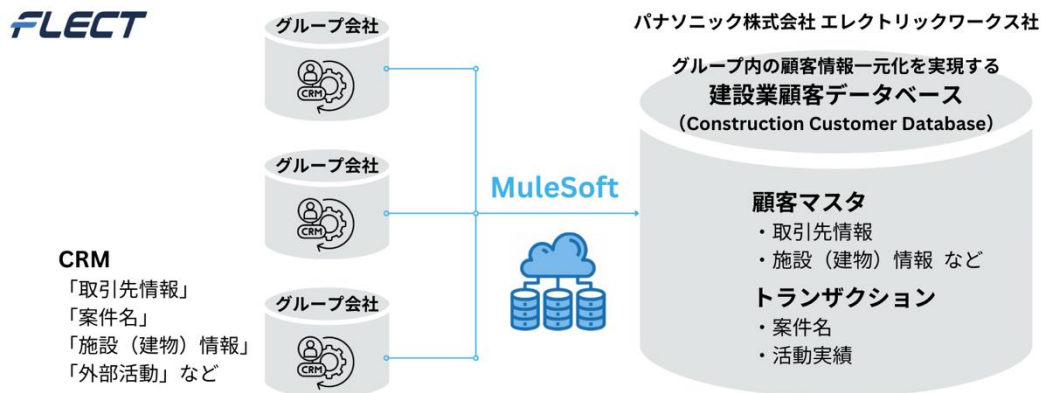


各 位

会社名 株式会社フレクト
代表者名 代表取締役 CEO 黒川 幸治
(コード番号：4414 東証グロース)

フレクト、パナソニック エレクトリックワークス社の 建設業顧客データベースの開発を支援 ～MuleSoft を活用し、API 連携により開発～

株式会社フレクト（本社：東京都港区、代表取締役 CEO 黒川幸治、以下フレクト）は、パナソニック株式会社 エレクトリックワークス社（本社：東京都港区、社長 大瀧清、以下エレクトリックワークス社）のグループ内における顧客情報を一元管理する「建設業顧客データベース（Construction Customer Database）」の開発を支援しました。本システムは API 連携基盤に MuleSoft を活用することで、グループ各社に導入された CRM 間のデータ連携を効率的に実現しています。これにより、エレクトリックワークス社の目指す、顧客接点の強化を通じた「顧客 LTV（生涯価値）の最大化」を可能としました。



フレクト、パナソニック株式会社 エレクトリックワークス社の 建設業顧客データベースをMuleSoftで開発支援

エレクトリックワークス社は、電気設備の分野で住宅、オフィス、ホテル、商業施設、スポーツ施設など社会を構成するあらゆる“くらしの空間”で事業を展開しています。現在、注力施策の1つとして、顧客接点の強化を通じた「顧客 LTV の最大化」に取り組んでいます。しかし、グループ内の顧客情報が一元管理されておらず、営業活動が非効率な点が課題となっていました。

この課題を解決するため、グループ内の顧客情報を一元管理する「建設業顧客データベース(Construction Customer Database)」を構築することとなりました。本システムは API 連携基盤に MuleSoft を活用することで、グループ各社に導入された CRM 間のデータ連携を効率的に実現しています。MuleSoft 導入のポイ

ントや API 連携による効果は以下のとおりです。

MuleSoft 導入のポイント

MuleSoft の特徴の 1 つは、API を再利用可能とすることで、データ連携を迅速に実現できる点です。エレクトリックワークス社は、今後のモダナイゼーションやビジネス展開を見据えた時に、どのシステムからでもデータを取得・更新できる仕組みを機動的に構築することが不可欠と考え、MuleSoft を導入することとなりました。初めての MuleSoft 導入でシステムの理解を深める必要がある点もポイントとなりましたが、フレクトの豊富な実績と知見をもとに支援いたしました。

API 連携の効果

グループ内の顧客情報を一元管理することで、数十万社の取引先情報、案件情報がリアルタイムで共有可能となり、現場調査・提案・受注までのリードタイムが短縮し、営業効率が大きく改善しました。また、グループ各社の情報が可視化されたことで、従来は見送っていた案件でも、グループで採算を考えることで、新たなビジネスチャンスと捉えられるようになりました。API のコール数は、順調に増加しており、グループ内での情報連携が活発化しています。

今後、エレクトリックワークス社はグループ内での連携範囲を拡大し、継続的に強化していく考えです。フレクトは、MuleSoft を活用した API 連携基盤の構築を通じて、エレクトリックワークス社の目指す、顧客接点の強化を通じた「顧客 LTV の最大化」を支援してまいります。

インタビューはこちら

<https://www.flect.co.jp/showcase/panasonic-ew/>

※製品またはサービスなどの名称は、各社の商標または登録商標です。

【IR に関するお問い合わせ】

Mail: ir@flect.co.jp

【IR 情報】

IR メール配信の登録: <https://www.flect.co.jp/ir/support/mail/>

IR 情報-TOP: <https://www.flect.co.jp/ir/>

IR 情報-よくある質問: <https://www.flect.co.jp/ir/investor/faq/>

IR 情報-用語集: <https://www.flect.co.jp/ir/investor/glossary/>